

令和3年度 学校評価アンケート 集計結果

学校から

昨年11月にGoogleフォームにて学校評価アンケートを実施し、総勢331名の保護者の方にご回答いただくことが出来ました。ご多用の中、ご協力くださり本当にありがとうございました。アンケートの集計結果を掲載いたしましたのでご確認ください。(回答率75.2% 昨年度比10.9%増)



本当にありがとうございました。

保護者のお声から

【1 感染症対策】

- 「昨年度に引き続き、コロナ禍の中、子どもたちの心身の健康にも気を遣っていただき、安心して学校生活を過ごせていることに感謝の気持ちでいっぱいだ。」
- 「たくさんの工夫や調整など、先生方のご苦労は如何ばかりであったかと推察する。」
- 「外運動時など、不必要な状況でのマスクの着用は、かえって児童の心身に悪影響ではないか。」
- 「運動会では、練習時含め積極的にマスクを外すようながしてもらえなかったため、苦しいのに非常に外しにくかった。」

- 今年度、学校が一番に考えたことは子どもたちの健康や命を守ることである。「横浜市立学校教育活動の再開に関するガイドライン」に沿って、お子様の健康を守るために、毎日の検温、手洗い、教室やトイレ等の消毒、マスクの着用、三密を避ける行動等の感染症対策を行ってきた。
- 体育の授業時、登下校で人と十分な距離を確保できる時、熱中症対策等で命に関わる危険がある時は、マスクを外す指導をした。但し、子どもたちがマスクの着用を希望する場合は、マスクの着用を否定せず、子どもの体調の変化に注意し、必要に応じて他の子どもとの距離を十分に確保して、マスクを外して休憩するよう指導も進めてきた。運動会でも、学校として統一した指導をしたが、行き渡らなかった場面があれば、今後より丁寧に指導をしていく。
- これからも、ガイドラインに沿って、必要な感染症対策を取りながら、マスクの着用については適時指導を進めていく。

【2 授業づくり】

- 「オンライン授業では、先生方が教室と自宅とをうまく繋いで下さり、教室に通えないことによるデメリットをあまり感じることなく過ごすことができた。」
- 「積極的にiPadを使う授業をしてくれる為、子どもが楽しそうに自信をもって操作している。」
- 「オンラインで学校生活を完全に再現するようなことはできないが、感染拡大等による不安や補完的な手段として、オンライン学習を取り入れて頂けると幸いである。」
- 「他校に比べてフィールドワークや調査・発表の場が少なく、受け身の授業が多いとの声をよく聞くので、もっと積極的に進めてほしい。」

- 夏休み明けの分散登校では、一人一台のタブレットを活用し、オンライン授業を実施した。ご家庭でのタブレットの設定や接続等では、保護者の方のご協力に感謝する。また、学校としてオンライン授業と教室の授業で、学習内容等が全て同じように子どもたちの理解に繋がっているとは考えていない。今後、オンライン授業を実施する場面があれば、教室でのフォロー等を考慮しながら進めていくつもりである。
- タブレットに慣れ親しみ、授業等で活用することはとても上手になった。キーボードを上手に活用している子どもを見られる。今後は、タブレットの使い方のルールの徹底、子どもの発達段階を考慮し、情報活用能力(情報モラルを含む)、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成できるように教育課程の編成を図っていく。
- 子どもたちの学習が主体的・対話的で深い学びになるように、教材研究を行い、必要な資料等を用意して授業を展開している。今年度、感染症対策のため校外学習や外部講師を招いての学習が難しかったが、より子どもたちの意欲が高まり、深い学びになるように、7月から校外に出かけたり、10月からは講師の方をお招きして学習を進めたりしている。今後も、感染状況を見ながら、質の高い学びになるように進めていく。

【3 運動会等、行事】

- 「コロナ禍においても運動会や宿泊学習などの行事をできる範囲でやっただけ、感謝している。」
- 「運動会で、6年生のソーラン節を低学年の子たちも一緒になって楽しそうに踊っていた。青空の下、素晴らしい運動会だった。」
- 「コロナの中でも運動会や社会科見学など、前向きに実施して下さったと感じており、努力いただいた先生方に感謝している。」
- 「本部のテント設置なしの配慮は見やすくてありがたかった。」
- 「感染者も減っており屋外で演技を観るので、保護者2人でもよかったのではないかな。」
- 「リレー選手の保護者以外は退場とするのであればリレー選手だけでも保護者2名にするなどの対応をしてほしかった。」
- 「修学旅行は大変楽しかったようでとても喜んでいて。宿泊行事で体験して得たものも大きかったようで行かせてくださった先生方に感謝する。」
- 「何でもかんでも保守的に捉え行動を制限する方向に向かうのではなく、できるだけ子どもや家庭の行動が制限されないように計らって頂けると有り難い。」

■「創立40周年記念運動会のお知らせとお願い」（10月15日付）でお伝えしたように、今年度、一斉休校、分散登校等があり、全校児童が集まって活動することが全くできていない。そこで、座席の距離を開ける等、感染対策をとって全児童が校庭に集まり、他学年の演技や競技を見たり、見てもらったりすることで、子どもたちの自己肯定感や自己有用感等、心の育成や学校・学年への所属感や一体感をもたせたいということを1番のねらいとした。子どもや保護者の方々の声にもあるように、意図した運動会に近づいたと思っている。

■保護者が参観しやすいようにテントの設営はやめた。また、「保護者2名の参観」を学校も検討を重ねてきた。しかし、保護者を2名にすると、計算上は600名近い保護者が来校し、校庭におよそ1200名近くの方が集まることになるので、子どもを含めすべての方々の健康を守るために、苦渋の決断で今回は1名とさせていただいた。開閉会式も含めリレーの参観についても、前・後半300名近い保護者の方々の移動時間等も考慮し、今回はこのようにさせていただいた。

■次年度、感染が収まり、従来のように人数制限のない参観の形になることを願うが、そのときの感染状況によってみなさんの健康を守る形で、保護者の参観は決めさせていただくことになると思う。

■宿泊体験学習については、行き先をすべて県内にし、夏休み前の予定を11月に延期し、遠足も含め実施することができた。3年生に関しては、行き先を変更しても校外学習を実施したいと考えている。学校だより12月にも掲載したが、「お弁当等は、給食同様、一方向を向いておしゃべりをしないで食べる」「宿泊では、密を避けるために一部屋の人数を減らす」等、感染症対策を講じて遠足・宿泊体験学習を実施し、それぞれのねらいに迫ることができた。

■次年度も「コロナ禍だからできない」ではなく「コロナ禍でも出来る方法」「楽しめる内容」と工夫を加えながら出来ることは進めていきたいと考える。



【4 情報共有・発信】

- 「コロナで子どもたちの様子を見るができなかったのが残念だった。しかし、ホームページで写真をたくさん掲載して様子を教えてくださっているの、いつも楽しみに見ている。色々工夫してくださり感謝している。」
- 「メール配信のサポートがあり、情報を確認しやすく大変助かっている。」
- 「ロイロノート・スクールなどを活用することが、今後も広がり、コロナ禍であっても学校と家庭と子どもたちとの情報共有やコミュニティの充実がより一層円滑になることを願っている。」
- 「ミマモルメをもっと活用し、紙のプリントを減らしてよいのではないかな。遠足の同意書なども Google フォームなどで十分だと思う。」

- 今年度、授業参観が1月まで実施できず、何とか保護者の方に学校の様子を知ってもらおうと、週に最低1回、多いときは3回ほどホームページの更新に努めた。ご覧いただき様子が伝わっていると学校としても嬉しく感じる。
- ロイノート・スクールは、毎日の健康観察でも使用している。また、横浜市教育委員会がタブレットの持ち帰り検討している。実現した場合、ロイノート・スクールや Google Classroom 等を活用した家庭学習や情報共有に有効になると考える。
- すでに、学校だより、食育だより、保健だよりをペーパーレス化し、ホームページに掲載するだけとしている。但し上の3つのお知らせを月末にホームページに掲載するが、アクセス数が家庭数と同様な数まで伸びないので、是非、お読みいただきたいと願う。
- 押印やサインが求められているものは紙でのご提出をお願いするが、Google フォームでも可能なものはペーパーレス化を検討したい。

【5 その他、要望など】

○「ランドセルが重すぎると感じている。置き勉をもう少し推進して頂ければ有り難い。今日の宿題は〇〇だから、持って帰る必要のある教材はどれなのか等、子ども自身に考えさせるのもよいのではないか。」

- 現在、資料集等の補助教材や実技に使用する道具等を置いていくような形で置き勉を実施している。荷物が重く登下校に支障がないように再検討し、新年度にお伝えしたい。

○「給食の白衣は、衛生面を考えると共有ではなく、希望者のみでもよいので個人購入にさせていただきたい。」

- 毎週末、洗濯とアイロン掛けをしていただき衛生面を配慮しているが、白衣は個人持ちの方がよいという考えも理解できる。PTAとも相談して、学校として考えていきたい。

○「ひとクラス43人はやはり多くないか。やっぱり3クラスがよかった。」

- ひとクラスの人数は、義務標準法で定められている。令和3年に改正され、小学校は、学級編制の標準を5年かけて35人に引き下げることになった。令和3年度は、1・2年生は35人学級、3～6年生が40人学級だった。令和4年度は、1～3年生が35人学級、4～6年生が40人学級となる。新4年生は、81人以上在籍があれば、3学級となる。学校としても、切にそれを願っている。

○「算数等は、中学年以上は自分のレベルに合わせて学習できるよう、少人数制を取り入れてほしい。」

- 算数では、発展問題まで学習したい子、じっくり考えながら学習したい子と、進め方に幅がある。その子の学び方に合った学習が進められるようなコース別学習は効果がある。実施をしたいが、そのためには教員の確保と組織づくりが必要になる。検討を進めたい。

○「意見があるときに、ホームページから投稿できるようにしてほしい。学校行事後は、保護者にも反省用紙を配布し、保護者目線での感想や気付いたことを伝えられる機会をつくってほしい。」

- 授業参観後は、保護者の方のお声をいただけるようにしている。また、何かお気付きの点があれば、連絡帳やお電話で、直接お話をいただきたい。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。コロナ禍でも学校の取組が評価されたところは、大変嬉しく思います。とくに、教職員の活躍についてご賞賛をいただけますと、励みとなり、次への活力となります。今後も保護者の皆様と学校と同じ方向へ進んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



ようしく
お願いします